

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 小林 壮行

1 第4回江南子ども将棋大会

11月9日（土）に江南市地域交流センター（toko+toko=labo）にて、「第4回江南子ども将棋大会」が開催されました。この大会は尾張北支部が主催し、運営も支部会員で実施しました。

県外からの参加者もあり、遠くは郡上市から参加してくれた子もいました。2年生以下の部では大会に初めて参加した子どももおり、緊張した面持ちで開会式を待っていましたが、対局が始まると盤面に集中してしっかりと指せていました。こうした子どもたちに将棋大会を経験してもらうためにも、毎年開催することは大事だな、と改めて思いました。

今回は会場の都合で定員が各クラス16名と少数だったため、募集後にすぐ定員に達してしまい、参加したくてもできない子がたくさん出てしまいました。今後はもう少し大きな会場で実施できれば、と思います。



	優勝	準優勝	第三位
小学2年生以下 14名	岡 研人 (名古屋市)	秋吉 悠治 (名古屋市)	山田 景斗 (多治見市)
小学3・4年生 15名	加藤 夢人 (一宮市)	熊谷 仁成 (春日井市)	梶木 柊輔 (清須市)
小学5・6年生 15名	前田 和太朗 (桑名市)	黒岩 頼 (あま市)	栗本 謙仁 (大府市)
中学生 6名	濱地 昌仁 (名古屋市)	松村 涼太郎 (名古屋市)	飯田 峻太 (半田市)

2 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」に参加して

令和6年10月19日（土）から22日（火）に「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」が鳥取県の各市町村において開催されました。将棋の会場となったのは鳥取県東南部の清らかな水と美しい山々に囲まれ、柿、ブドウ、リンゴなどのフルーツで有名な八頭町（やずちょう）の八頭町立八東体育文化センターでした。

10月19日（土）予定されていた入場行進は急な雨で中止となり、開会式は急遽体育館にて行われました。

将棋の大会は20日（日）3人団体予戦リーグ、21日（月）が団体決勝トーナメント及び決勝トーナメント進出以外のチームの選手による個人戦が開催されました。

名古屋市チームは、榊原和久さん、阿知波敏明さん、溝口正二さんが参加し、高知県、神戸市、福岡市と対戦しましたが及ばず、高知県が決勝トーナメントに進出しました。

翌21日はそれぞれ個人戦で頑張りましたが、全国大会のレベルは相当な高さでした。

成績は残念な結果でしたが、大会での対戦を通じて交流を深めることができたと思います。なお、大会の優勝は茨城県、準優勝は広島県でした。

また、来年は岐阜県にて2025年10月18日（土）～21日（火）に「ねんりんピック岐阜2025—清流に輝け ひろがれ 長寿の輪」が開催されます。

日本将棋連盟愛知県支部連合会理事 棋道師範 黒田耕榮

3 令和6年度蒲郡将棋名人戦への多数の参加者に感謝

今年は、夏が11月上旬まであり、秋をほとんど感じることなく、11月下旬には冬になってしまうという、異常な気候でした。そんな中、去る11月24日に蒲郡市三谷公民館において第45回蒲郡将棋名人戦を開催することができました。

前回の36名参加から、今回は43名の参加を得ることができました。対局をしている様子からは、数多くの大熱戦が観られました。各自の持ち時間の25分ギリギリになっても決着の行方が分からない場面もありました。参加者の意地と意地のぶつかり合いを観ている様でした。年3回行っている蒲郡将棋名人戦ですが、参加者一人一人の棋力の向上が感じられることは、嬉しい限りです。

さて、蒲郡名人戦の競技についてですが、A、B、Cクラスに分かれて、自分の棋力に応じたクラスでの対戦になります。

Aクラスにおける注目ポイントは、第43回、第44回と決勝は、高見澤さんと富増さんとの顔合わせで、高見澤さんが連覇をしています。今回、誰が高見澤さんの連覇を阻止するかでしたが、高見澤さんが中飛車戦法を主戦法として巧み指しこなされ、見事に3連覇を果たされました。

おめでとうございます。これからは、誰が連覇を阻止するかが大きな見所になります。

「打倒、高見澤さん」を合い言葉に、参加者のレベルアップをしてくれるのが楽しみです。

Bクラスでは、前大会Cクラスで上位入賞を果たした小中学生が、Bクラスで戦う姿を多く見かけました。その中で、小学生の宮嶋君は、兄弟で参加し、2人とも決勝トーナメントまで勝ち上がりました。そして、優勝はお兄ちゃんの宮嶋太一君でした。おめでとうございます。また、準優勝だったのは、川原君でしたが、前回も準優勝でした。次回こそ、悲願の初優勝をめざして頑張ってください。（大相撲千秋楽では、大関琴櫻が豊昇龍に勝ち悲願の初優勝をしました）



Cクラスでは、小学生とおじいちゃんたちの対局がほとんどでした。おじいちゃんたちは、負けちゃったと小学生の強さに舌を巻いていました。将棋は年齢差に関係なくできるゲームです。将棋を通して、多くの方との交流を深めてくれるとともに、ますます研鑽を積んで、上位クラスをめざしてください。最後に、数年前のコロナ禍での大会を思い出すにあたり、令和6年度の蒲郡将棋名人戦が、規制なく予定通り3回開催できたことに感謝したいと思います。

令和7年度は、蒲郡支部は設立25周年を迎えます。現在、支部役員会において、設立25周年事業案を計画中です。概略については、蒲郡将棋名人戦の中で、お祝いをしようと考えています。ご案内をしますので多くの皆様方の蒲郡将棋名人世へのご参加をお待ちしております

蒲郡支部 指導員 壁谷雅道

	優勝	準優勝	第三位
Aクラス 13名	高見澤 勝利 (刈谷市)	谷口 博一 (幸田町)	河邊 孝一 (蒲郡市)
Bクラス 16名	宮嶋 太一 (東郷町)	川原 蒼太 (高浜市)	高柳 湊 (大府市)
Cクラス 14名	蜂須賀 千晴 (岡崎市)	清水 奏斗 (刈谷市)	鈴木 瀧瑛 (蒲郡市)

4 日本将棋連盟創立100周年記念 公文杯第50回小学生将棋名人戦愛知県大会



11月4日(月・振休)、日本将棋連盟創立100周年記念公文杯第50回小学生将棋名人戦愛知県大会を開催しました。参加者は71名でした。

これまで、1月から2月にかけて都道府県大会、年度が替わって全国大会のスケジュールだったため、6年生が都道府県大会に参加できませんでしたが、今回は、年度内に全国大会を実施することとなりました。

このチャンスを活かして県代表の座を獲得したのが、現在6年生の鈴木蒼大さんでした。鈴木さんは、東海研修会に所属して研鑽を積み、この地域の大会での入賞の実績も豊富です。全国大会での活躍が期待されます。

優勝	準優勝	第三位	第四位
鈴木 蒼大 (みよし市)	林 旺志郎 (江南市)	守永 敏輝 (刈谷市)	黒岩 頼 (あま市)

5 将棋日本シリーズテーブルマークこども大会東海大会、 将棋日本シリーズJTプロ公式戦準決勝第二局が開催

令和6年11月2日（土）、Aichi Sky Expo展示ホールDで、将棋日本シリーズテーブルマークこども大会東海大会、将棋日本シリーズJTプロ公式戦準決勝第二局が開催されました。

将棋日本シリーズテーブルマークこども大会東海大会では、「低学年」（小学3年まで）、「高学年」（小学4～6年）の2部門で実施されました。

大会は、事前申込抽選制で行われ、大会当日には全体で737名（前年度は691名）の参加がありました。

大会結果は次のとおりです。

	優勝	準優勝
低学年の部 (小学3年以下)	杉立 暖真 三重県桑名市益世小3年	宮野 智輝 東京都江戸川区第三松江小3年
高学年の部 (小学4～6年)	白尾 康 東京都立水小4年	小松 希 国立島根大学教育学部附属 義務教育学校5年

また、当日は、将棋日本シリーズJTプロ公式戦準決勝第二局が開催されました。

藤井聡太JT杯覇者、広瀬章人九段が対戦するという大注目の公開対局となりました。

対局は、広瀬九段が先手番で、相掛かりの戦型となりました。先手が横歩を取り、後手が角交換後、自陣角から1筋を詰める展開となりました。その後、後手は飛車と金桂の二枚替えの進行となりましたが、やや先手優勢になったようです。終盤は1手違いのスリリングな展開となりましたが、先手119手目の三四歩が決め手となり、137手で広瀬九段が勝利しました。



6 冬休みこども将棋講座

- (1) と き 令和6年12月27日(金)、28日(土)
受付12時～ 開始12時30分 終了18時
- (2) と ころ 愛旅連ビル3階会議室（栄将棋教室向い）
- (3) 対 象 小・中・高校生 有段者向け
- (4) 定 員 18名（先着順）
- (5) 参 加 費 12,000円
- (6) 講 師 久保利明九段（27日） 矢倉規広七段（28日） 竹内貴浩四段
- (7) 申込方法 氏名、ふりがな、学年、電話番号を明記し、
taketakashogi81@outlook.jpまで
- (8) 主 催 栄将棋教室
- (9) 協 力 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 問 合 せ 指導棋士 竹内貴浩 電話090-1747-0679

7 第7回熱田こども将棋大会

- (1) と き 令和7年1月25日(土) 受付9時～ 開会式10時～
(2) と ころ 熱田神宮文化殿講堂
(3) ク ラ ス 小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生
(4) 定 員 各クラス64名
(5) 参 加 費 1,000円
(6) 申込方法 右のQRコードから。1月17日(金)16時〆切。
応募者多数の場合は抽選。
(7) 参加棋士 木村一基九段 中山則男六段 柵木幹太四段
宮嶋健太四段 竹内貴浩四段 中澤沙耶女流二段
山口稀良莉女流1級 岩佐美帆子女流1級
山口仁子梨女流1級 森本理子女流2級
(8) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会
(9) 後 援 中日新聞社
(10) 協 賛 フェールMAMI 名古屋瑞穂ロータリークラブ 賀城園 浅井商店
名古屋トヨペット テックササキ 東邦ガス 亀屋芳広 不二木材工業
エクセルイン名古屋熱田 もんじゃ屋神宮茶屋 名古屋学院大学
蓬萊軒 たから写真館 ランドマークエンターテイメント
名古屋鉄道 名古屋上下水道総合サービス きよめ餅総本家
(11) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441 (平日13時～16時)



【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の行事の日程】

- 12月7日(土) 第103回中部職域団体対抗将棋大会
12月27日(金)、28日(土) 冬休みこども将棋講座
1月25日(土) 第7回熱田こども将棋大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。東海普及連合会のウェブサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp>) からダウンロードもできます。
東海普及連合会・愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会・愛知県支部連合会事務所 (平日13時～16時)
〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A
電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp